



しらやま

白山小学校だより No.43

令和3年3月1日



心の支度を



早いもので、今年も弥生3月を迎えました。5日は二十四節気の「啓蟄」(けいちつ)で、冬眠していた生き物たちは長い眠りから覚め、活動を始める頃となります。気温の上昇とともに、草花や樹木、小鳥のさえずりにも春の訪れを感じる日が多くなるのはとてもうれしいことです。そして学校では、いよいよ卒業式へ向けての準備が始まります。6年生の皆さんには、小学校での思い出を胸に中学校への希望を抱いて卒業式を迎えてほしいと願っています。また1年生から5年生までの皆さんには、1年間のまとめをしっかりと行い、次の学年に進級してほしいのです。6年生だけではなく、どの学年の子たちも全員が希望に満ちた新学期を迎えるためには、支度(したく)が必要となります。この3月に、子どもたち一人一人が自分なりの「心の支度」を整えてほしいものです。

支度

黒田 三郎

何の匂いでしよう
これは
これは春の匂い
真新しい着地の匂い
真新しい革の匂い
新しいものの
新しい匂い
匂いのなかに
希望も
夢も
幸福も
うっとり
浮かんでくるよう
ごったがえす
人いきれのなかで
だけどちよつぱり
気がかりです
心の支度は
どうでしょう
もうできましたか



器械運動発表会



体育の授業で取り組んできた器械運動の技の発表会が、25日(木)26(金)の2日間に分けてありました。25日は跳び箱とマット、26日には鉄棒と跳び箱の種目で希望者によって行われました。低学年から高学年までの21名の子たちが技の披露をしてくれましたが、どの子もよくがんばり、終わった後には応援席からたくさんの拍手が送られました。「緊張したけれど、練習の時よりもきれいな技が出せてよかった。」「練習の時よりも跳びすぎて変な声が出てしまったけど、きれいにできでよかった。」などと、技を披露してくれた子たちが感想を話してくれました。

